



【NPOいた・エコ・ネット メールマガジン】

第 63号

2024 年 2 月 1 日

発行責任者 NPO 法人いた・エコ・ネット理事会

連絡先 090-7223-4689 横山

遅くなりましたが、

2024年辰年 今年もよろしくお願いいたします。 皆さんと一緒に、設立10年目の活動を 楽しく作って行きましょう。

今号の記事

- ① コットン 栽培記録 その④
- ② 「50代・60代のための地域活動入門講座」受け入れ 11月9日(金)11月18日(土)
- ③ 赤塚公園クリーンアップディ 12月10日(日)
- ④ 赤塚公園コットン畑じまい 1月14日(日)
念願の腐葉土(落ち葉堆肥)づくり 1月15日(月)
- ⑤ 環境なんでも見本市 2月1日(木)～29日(木)
- ⑥ 今後の活動

- ① コットン 栽培記録 その④ 中嶋都子さんの報告です。

2023 年コットンの栽培記録(11/15～2024/1/12)

11 月～1 月までのコットンの栽培記録です。

【11 月～1 月の収穫量】

日付		天気	気温	時間	収穫量g	
11/15	水	曇り	14.0	14:55	60	
11/21	火	晴れ	17.0	14:15	50	
11/29	水	晴れ	15.0	13:30	120	11 月合計 230g
12/3	日	晴れ	4.0	8:25	130	
12/7	木	晴れ	16.0	14:40	150	
12/14	木	晴れ	7.0	9:20	70	
12/17	日	晴れ	—	13:35	25	
12/19	火	晴れ	10.0	13:30	150	

12/22	金	晴れ	1.0	9:15	80	
12/29	金	晴れ	13.0	14:40	150	12 月合計 755g
1/3	水	曇り	10.0	14:45	140	
1/5	金	晴れ	5.0	8:25	40	
1/12	金	晴れ	8.0	14:10	150	1 月合計 330g

注: 収穫量は中嶋が収穫した分のみです

○ 11 月 15 日～1 月 12 日 コットン収穫量合計 1315g

○ 8 月 17 日～10 月 30 日 コットン収穫量合計 2340g(前メルマガに掲載)

【4 本の木の収穫量】

○ 今シーズンは畑に植えた苗を間引きして 1 本立ちにしました。そこで、1 本の Cotton の木の収穫量を調べてみました。

対象: Cotton 畑の東側の 4 本の木にしました。

期間: 8 月 17 日～1 月 12 日

札 No.	収穫量(g)
No.1	30
No.2	45
No.3	70
No.4	60



結果: Cotton 畑の東側の木(日当たりはほぼ同じ)で調べましたが、木の成長(高さ)にも差がありました。木の成長が良い木の方の収穫量が多かったです。

注: 4 本の収穫量は、【11 月～1 月の収穫量】には含まれていません。

Cotton 畑の様子

テントウムシ



12 月 14 日 Cotton 畑



1 月 12 日 Cotton 畑



12 月 葉の紅葉?



カマキリ



カマキリの卵



【今シーズンのコットン栽培が終わって】

今シーズンは、木の高さや1本の木からの収穫量を調べてみました。

今回は自己満足な調査になってしまいましたが、楽しくコットンの成長を見守ることができました。

快く許可をしてくださってありがとうございました。



② 「50代・60代のための地域活動入門講座」受け入れ 11月9日(金)11月18日(土)

板橋区健康生きがい部長寿社会推進課が実施しているシニア世代を対象に、ボランティア・地域活動の体験講座の受け入れを行いました。

講座の目的は、「今後地域で活躍したいと考えているシニア世代向けに、体験学習を含めた講座を実施し、地域活動への理解と参加を促進する」としています。コロナ感染症の影響で、一時休止されていましたが昨年から再開されました。

講座に参加した方が、現在社会参加している活動は、(アンケート結果から)

1位 スポーツや健康維持のための活動 2位 趣味のサークル活動 教養講座等への参加

3位 ボランティア・NPO 等の社会貢献活動

2023年新たに始めたい活動は、

1位 ボランティア・NPO 等の社会参加活動 2位 スポーツや健康維持のための活動 3位 教養講座等の参加

今後新たに始めてみたい活動は、

1位 ボランティア・NPO 等の社会参加活動 2位 スポーツや健康維持のための活動 3位 教養講座等の参加

体験学習の時期が11月中とあり、いた・エコ・ネットはコットンの収穫体験しかできませんが、9日(金)7名、18日(日)は、4名の合計13名の参加がありました。うち3名(男性1人、女性2人)の入会希望があり、すでに2名の方は活動に参加しています。



収穫体験の様子



③ 赤塚公園クリーンアップディ 12月10日(日)

赤塚公園の林のクリーンアップ月間2023 “きれいな林を守るために” 毎年実施しているイベントです。

「ごみを捨てない」「見つけたら回収する」の日頃の心構えで「赤塚公園はごみの少ない公園」と言われるようになりました。ここ3・4年は一斉の清掃活動ではなく、赤塚公園友の会の参加団体が、12月をクリーンアップ月間として、それぞれの活動日に林の手入れや観察活動、栽培活動をしながら公園清掃をしています。

コットン畑のある赤塚公園中央地区(テニスコートや管理センター、銀杏並木があるところ)は、大きなごみはそれほど多くはありませんが、たばこの吸い殻が多く落ちていることに驚きます。注意喚起が必要と思います。

以前、小さい子どもとお母さんの親子連れが、私たちの清掃活動を見て「こうしてお掃除してくれるから、きれいな公園なのね」と話している場面があり、嬉しく思ったことがありました。

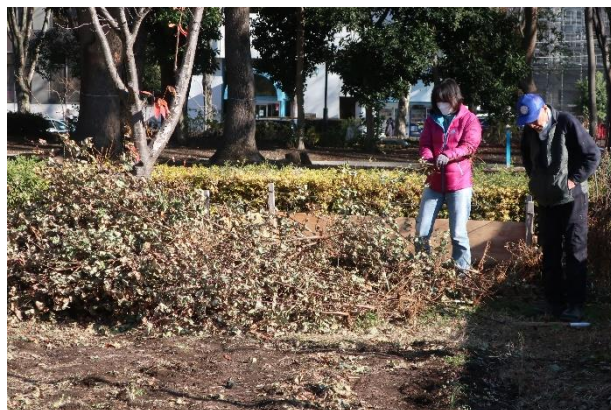


④ 赤塚公園コットン畑まい 1月14日(日)

昨年の5月から始まり、たくさんのコットン(綿)が収穫できた木も葉がカラカラに。今年は冬でも暖かな日が多いせいか、コットンボールもまだまだたくさんあり、抜根するには惜しいような感じでしたが、次年度の収穫に備え、片づけました。木を抜き、マルチをはがして更地にしました。

今年は、念願だった腐葉土づくりに挑戦!! するために抜いた木を根っこと太い木の部分を除いて、細かく切り、翌日の腐葉土づくりの下準備もしました。

畑まいには、今年度シニア体験講座に参加し、いた・エコ・ネットに加入した2人の方も参加されました。



念願の腐葉土(落ち葉堆肥)づくり 1月15日(月)

赤塚公園のコットン畑の土は、少し掘ると大きな石やがれきが出てきて、決して良い土とは言えません。福島県広野町では、鶏糞を入れていました。赤塚公園のコットン畑には、腐葉土を入れることにし、耕した後、腐葉土を入れてからマルチを張り、苗を移植しています。

赤塚公園では腐葉土を作っていないので、その腐葉土は購入していました。自然の循環を考えると、赤塚公園では落ち葉がたくさん発生するのだから、落ち葉を使って腐葉土を作らないのはおかしいと、以前から赤塚公園管理センターには腐葉土づくりをしたいと申し入れをしていました。そのことが、やっと実現することになりました。

区立赤塚第3中学校の職場体験の1年生3人と一緒に、前日に準備したコットンの葉と枝、赤塚公園の掃き集めた落ち葉と糠で腐葉土づくりに挑戦することになりました。初めに腐りにくい綿の木と葉、その上に落ち葉と糠を入れ、水をまく。落ち葉が乾きすぎないように、上からよく踏んで空気を抜くを繰り返して、最後にシートで密閉。風で飛ばないように、石で押さえました。糠は区民から無償提供をしていただきました。早くて3か月。今年の栽培に少しでも使えると良いのですが。



土の中で生活しているカビ、放線菌、バクテリアなどが落ち葉の有機物の繊維やたんぱく質を酵素で分解し、放出された養分やエネルギーを吸収して増殖。分解残りの有機物は、熟成されて腐食(完熟堆肥)になります。土の中では長い時間がかかるので、人工的に管理をして短い時間(3~6 か月)で仕上げるのが堆肥づくりです。



⑤ 環境なんでも見本市 2月1日(木)~29日(木)

第 23 回環境なんでも見本市が、エコポリスセンター地下 1 階フロアを会場に始まりました。

今回のテーマは、「いたばしから地球の未来を考えよう！」



<開催趣旨>

地球の環境を維持・改善していくためには、私たち一人ひとりが身近なことから取り組み、持続可能なライフスタイルにすることが求められています。本イベントは、これまで区内最大級の環境イベントとして、板橋区内外で行われている様々な環境活動や環境にやさしい暮らし方など紹介してきました。今年度もエコポリスセンター館内での展示、Web 上での展示、およびワークショップの 3 通りの方法で開催をします。

多くの方々に様々な環境活動に触れていただいて地球の未来のために、私たち一人ひとりに何ができるかを考えていただく機会とします。

いた・エコ・ネットのワークショップは、25日(日)13時半~15時「コットン(綿)を使ったマグネットやストラップをつくろう!!」です。 お時間のある時に、見にいってください。



⑥ 今後の予定

- | | | |
|-----------|----------|----------------------------------|
| ・2月1日(木) | 10時~ | 環境なんでも見本市 |
| 2月29日(木) | ~12時 | 環境なんでも見本市 搬出 |
| ・2月8日(木) | 13時半~ | 腐葉土づくり 続き 赤塚公園コットン畑 |
| ・2月14日(水) | 14時~ | 環境団体連絡会 |
| ・2月25日(日) | 13時半~15時 | 見本市 ワークショッ 「コットンでストラップやマグネットつくる」 |

- ・2月26日(月) 13時半～15時半 赤塚公園パークミーティング
- ・3月6日(水) 10時半～12時 理事会
- ・3月15日(金) 13時～ 腐葉土づくり 赤塚公園コットン畑
- ・3月22日(金) 13時半～ 環境なんでも見本市実行委員会
- ・4月3日(水) 10時半～ 理事会
- ・4月27日(土) 14時～16時 総会予定
- ・5月12日(日) 10時～16時 赤塚植物園グリーンフェスタ ワークショップ
「コットンでストラップやマグネットをつくる」
- ・5月中旬 コットン苗移植 赤塚公園コットン畑

赤字の予定は、ぜひ皆さんの参加・お手伝いをお願いいたします。

年の初めから地震、飛行機事故と大きな災害が続きました。28日には東京湾を震源とする地震も起きて、不安な年の始まりとなりました。でも、早いものでもうすぐ立春。春がそこまで来ています。平和な年になることを祈るばかりです。

いた・エコ・ネットの活動も10年目に入ります。2015年(平成27年)4月4日(土)の設立総会が昨日のように思い返されます。NPO 法人の認証は、4月7日に申請の届け出をして、6月17日、当時の舩添要一都知事の名で認証書が出されています。当時、皆の思いをまとめた設立趣意書を読み直してみました。

設 立 趣 意 書

「いたばしの暮らしを考えるプロジェクト」に集まった区民たちは、私たちが暮らすまち「板橋」で暮らしを良くし、地球環境を守るために何ができるかを考えました。そこで、持続可能な板橋のまちづくりを進めるために、3回の連続講座の学びの中から、埼玉県小川町「霧里農場」での有機農法、福島県いわき市周辺の被災地復興の取り組みを見学し参考にしました。それらの体験を踏まえ、板橋でも有機農法で自給できる農業と緑の保全・増進、再生可能エネルギーによる地域での市民発電の重要性を感じました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災は、これまで安全と言われてきた原子力発電がひとたび事故を起こせば広範囲に放射能汚染をもたらし、多くの人々から生活と生業、雇用を奪い、将来の健康に不安を抱かせ、日本国土の一部を人が暮らせない土地に変えてしまう結果を招くことを明らかにしました。

このことにより多くの区民が、これからのエネルギーや生活の仕方を考え直す機会を得ました。安全に、安心して生活が続けることができる地球・地域を未来を担う子どもたちに引き継ぐために、今までの私たちの暮らし・私たちのライフスタイルを見直す必要があります。

太陽光等再生可能エネルギー利用の普及、省資源省エネルギーや地産地消および5R(ごみの減量・再使用・再資源・拒否・修理)等の推進、区内自然環境の調査および保全、区内の自然・まちづくりに関する認識を深めていく活動を通して、地域の生活環境の改善と自然環境の保全を進め、人と自然の調和のとれた循環型まちづくりを広くおおぜいの板橋区民と一緒に「板橋」で協働して行くことが重要だと考えます。

環境・子育て・緑・福祉・教育などさまざまな問題を区民自身の生活課題としてとらえ、自らが解決していくまちづくりの取り組みには、多くの区民が集まることができる場所、地域で行動する人を増やし、多くの知識・情報を集め、発信でき、未来に向け持続できる暮らし方・ライフスタイルを広げるアイデアが生み出せる場所が必要になります。

そこで、社会的に責任ある立場と目的を明確にし、新たな人と地域のつながりを生み出しながら、市民力・地域力を高め、持続可能な社会へと向かう一歩にしていくために、利益を目的としない、市民・地域主導によるNPOを立ち上げます。1人では実現できないこともおおぜいの人との協働なら実現できます。私たちは、地域に住む皆さんと共に安全で安心して生活ができるまちづくりを進めていきます

2015年4月4日 NPO法人設立準備会

(文責 横山)